

たま みが

# 玉磨かざれば光なし



北広島町立大朝中学校  
学校だより 9月号  
令和3年9月15日(水)

《学校教育目標》 大朝(ふるさと)を愛し、すすんで学び続けるたくましい生徒の育成

## 2学期がスタートしました！ ～ どうやったらできるかの工夫を ～

全国的・県内的にも新型コロナウイルス感染が拡大している状況の中、感染拡大防止の対策を講じ、9月1日(水)に2学期始業式を迎えることができました。

その始業式での、藤田校長から全校生徒への式辞の概要を紹介します。

新型コロナウイルス感染症が広島県内、また、北広島町でもなかなか収束せず、先行きが見通せない状況が続いています。こういう状況が続くと不安や心配な気持ちの中で、どうなっているのか「知りたい」という思いが強くなり、根拠のないうわさを信じたり、それを広げたり、悪口を言ったりすることにつながりがちです。



でも、それば許されないことです。自分が聞かれたら嫌なことを人に聞こうとしていないか、自分やその家族がうわさ話をされたらどうか、そういったことを考えて行動してほしいと思います。

1学期に生徒会が行った「いじめ0の会」でも、おかしいと思う行動は注意する、先生や大人に相談する、困っている人がいたら声をかけるなどの声が出ていました。みんな声をかけあって、一人一人が大切にされ、悲しい思い、辛

い思いをする人を出さない大朝中学校にしていきたいと思います。

さて、夏休みの前半にはオリンピックが行われ、そして現在はパラリンピックが行われています。チャレンジし続ける選手の姿にたくさんの感動をもらいました。チームで力を合わせ努力し挑戦する姿、相手をリスペクトし、たたえ合う姿、支えてくれた周りの方に感謝する姿など、本当に心が熱くなりました。中でもパラリンピックでは、本校の卒業生である白砂匠庸選手がやり投げに出場し、6位入賞を果たしました。本当に素晴らしいことです。選手たちは「できない」ことであきらめるのではなく、「どうしたらできるのか」という考え方で工夫し、挑戦し続けています。



私たちは、現在、新型コロナウイルス感染症のため、我慢すること、当たり前だったことができない生活が続いています。だからこそ、オリンピック、パラリンピックの選手たちに学び、できないとあきら

めるのではなく、できることに目を向け、どうやったらできるかを工夫していきたいと思います。今、できていることを大切に、チャレンジしていきましょう。大朝中学校の目標にある「進んで学び続ける」「たくましい」生徒になっていきましょう。2学期は運動会をはじめいろいろな行事があります。それらを成功させるためにも、何かを人任せにするのではなく、まず、何事も自分で考え、自ら行動していきましょう。



## 雨の中、御協力ありがとうございました！ ～PTA奉仕活動及びリサイクル活動～

8月21日(土)、それまでの豪雨のことがあり、警報が出ないかどうか心配していましたが、保護者や地域の皆様の御協力もあり、何とか無事に行うことができました。そのPTA奉仕活動の前には、早朝より草刈りをしていただき、グラウンド脇や法面等を綺麗にさせていただきました。刈っていただいた草を集める頃になって、何度も雨脚が強くなり、一時雨宿りが必要な場面もありましたが、時間いっぱい活動することができました。その後のリサイクル活動では、事前に連絡のあった所へは回収に行ってください、持ってきてくださったリサイクル用品は業者の方や生徒で仕分け作業をしました。

その一場面を紹介します。

### 【PTA奉仕活動】



松村PTA会長からの挨拶



協力して草を集めています

### 【リサイクル活動】



持ってきてくださった方へ案内中



御協力くださり、本当にありがとうございました。